

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

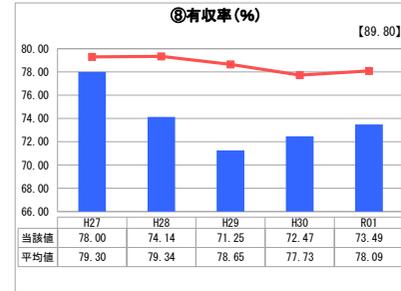
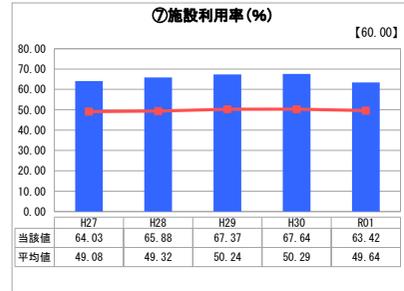
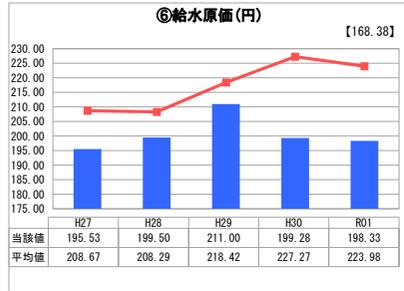
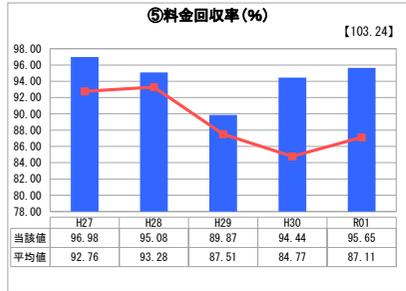
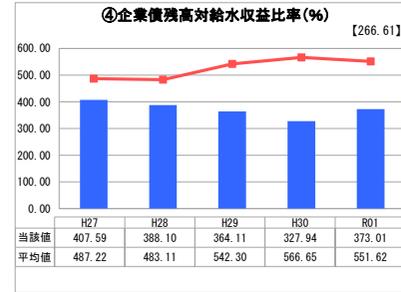
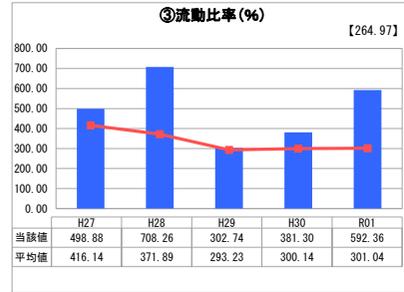
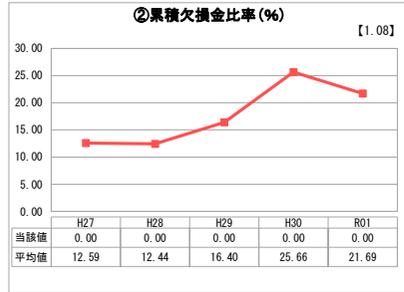
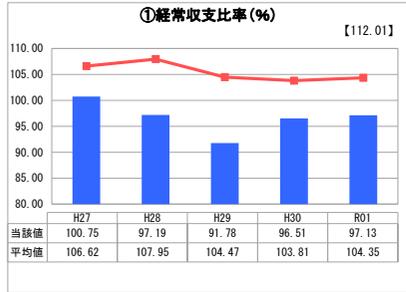
岐阜県 関ヶ原町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	69.52	88.97	3,520	

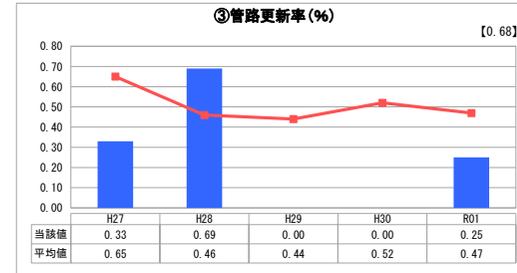
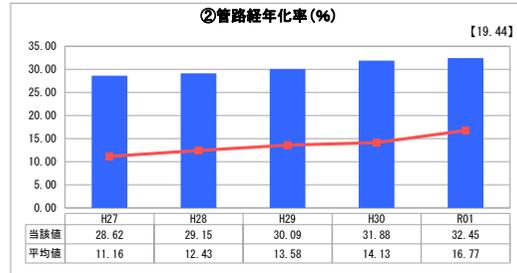
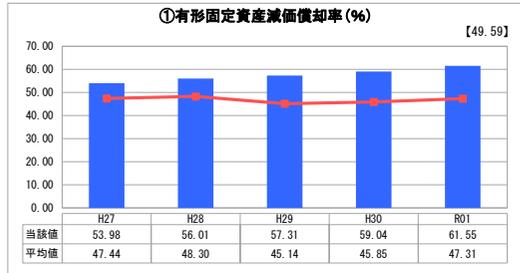
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,000	49.28	142.05
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,187	12.00	515.58

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は昨年度より若干改善しているが、100%未達であるため、赤字となっている。また、全国平均より低い数値となっている。今後も給水収益の減少、施設老朽化による維持管理費の増加が見込まれるため、厳しい経営状況にある。流動比率は昨年度から増加し、100%を上回っている。企業債残高対給水収益比率は、借入を行ったため、昨年度より増加した。設備投資や更新を行っていく必要があるため、計画的な借入を行っていく必要がある。料金回収率は昨年度より改善しているが100%を下回っており、必要な費用を料金収入で賄うことができていないことを示している。給水原価は昨年度より若干減少したを示している。施設老朽化による維持管理費の増加が見込まれるため、今後も適切な維持管理に努めていきたい。施設利用率は昨年度より減少したが、類似団体と比較すると高い水準であるため、施設の効率的な運用が出来ている。有収率は、漏水箇所の早期の修繕により昨年度から改善している。今後は、漏水に起因する老朽管の更新を計画的に進めていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率と管路経年率は年々増加しており、更新が必要な施設、管路が増加している。類似団体と比較しても有形固定資産減価償却率、管路経年率とも高く、類似団体より施設、管路の老朽化が進んでおり、特に管路の老朽化が進んでいる。管路更新率は過去2年間更新が出来ていなかったが、元年度に管路の更新を行ったが、類似団体と比べ、管路の更新が進んでおらず、今後も計画的な管路更新を進めていく必要がある。

### 全体総括

今年度も昨年度に引き続き経常収支が赤字となった。昨年度よりは若干改善はしたが、今後も給水収益の減少及び維持管理費の増加により収支の改善は見込まれないと思われる。また、第4次拡張事業を推進するため、老朽化施設の更新が進まない状況にある。今後は第4次拡張事業、既設設備の更新を計画的に進めていく必要がある。また、水道事業の安定経営に向けて、料金改定も検討していく必要があると考えている。